

鑑識体験や交通検問体験も

17企業で職場体験

芦別高校の2年生50人
実社会の職業経験



【芦別】芦別高の2年生50人が20、21の両日、市内や赤平、滝川、今回は市内企業や警察署のほか、赤平で

は建設業や保育所、滝川では携帯ショップなどで、産業界の知識や技能に触れながら職業観などを身に着けた。

芦別警察署(佐々木好明署長)では、3人の生徒が警察業務の説明を受け、鑑識体験や捜索差し押さえ体験、遺失拾得体験など、実際に足跡の採取や覚え

い剤の捜索差し押さえなどを体験した。

午後からは交通検問体験を実施。写真。

実際に夜光ベストを着用して不審な自転車の男性を質問。「止まってください」と停止し、「ふらついているよう

だったので、お酒は飲んでいませんか」と質問すると、「大丈夫。お酒は飲んでいません」とはぐらかされ、飲酒検知器で風船を膨らませて検査するまでを体験した。

佐藤叶羽さんは「将来は道民の人に頼られる婦人警察官に」と話し、水上葵さんも「北海道警察音楽隊と共演したことがあるので、音楽隊に」と感想を話した。

【船木宗司】